

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

ひたちなか市 解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	ひたちなか市は、1994年（平成6年）11月1日に勝田市と那珂湊市が合併してできました。	2
2	ひたちなか市の鳥に制定されている鳥は、ウグイスです。ウグイスは、海岸線や陸地に限らず、斜面沿いに多く生育しています。春を告げる明るい印象が、未来に発展する本市のイメージにふさわしいことから市の鳥に制定されました。	4
3	ひたちなか市の平磯海水浴場のシンボルとして親しまれている「くじらの大ちゃん」は、繊維強化プラスチック製で、体長15メートル、幅5メートル、高さ2.3メートルで1983年（昭和58年）に設置されました。	2
4	1966年（昭和41年）に太平洋沿岸の漁港を有する都市である那珂湊市（現在のひたちなか市）と宮城県石巻市が姉妹都市協定を結びました。その後、1994年（平成6年）に那珂湊市が勝田市と合併してひたちなか市となり、2005年（平成17年）には石巻市が周辺6町と合併して新生石巻市が誕生しましたが、現在も変わらない交流が続いています。	1
5	那珂湊駅の駅名標には、近くの史跡「反射炉」と車庫側に置かれた日本初のステンレス製気動車「ケハ601」とシンボルの駅猫が描かれています。この猫は「駅猫おさむ」という名前が与えられ、駅の Mascot になっています。また、メスの猫もあり、こちらは「ミニさむ」と呼ばれています。	3
6	2018年（平成30年）4月21日、ひたちなか市中根に六ツ野スポーツの杜公園がオープンしました。芝生の北側グラウンドとクレイの南側グラウンドやウォーキングコースのある運動公園です。	4
7	ひたちなか市で生産される「バインベリー」とは、つるつきいちごのことです。商標登録をしているので、JAひたちなかを通したつるつきいちごのみが「バインベリー」と呼ばれます。「バイン」とは英語で、「植物のつる」を意味しています。	2
8	日本最大級の音楽野外フェス「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」のトレードマーク「ROCK」の文字ををかたどったオブジェが勝田駅前に設置され、2018年（平成30年）4月22日に完成セレモニーがおこなわれました。	3
9	家族を意味する「ファミリー」と、協力・連携・共同作業を意味する「コラボレーション」をつなげ、子供からお年寄りの方までが気軽に集まれ、親しまれる施設になるようにひらがなで「ふぁみりこらぼ」と表記されています。	2
10	シラスとは、カタクチイワシ・マイワシ・イカナゴ・ウナギ・アユ・ニシンなど、体に色素がなく白い魚の総称です。ひたちなか市産のシラスは、イワシの稚魚です。	3
11	沢田湿地では、砂丘型湧水のもたらす年間12～15℃という安定した豊富な湧水によって、標高1,500メートル級の湿原に似た環境が形成され、1972年（昭和47年）に発見されたオゼイトンボは、氷河期後1万年間、この地で繁殖してきたものと考えられています。	1
12	沢田湧水に生息するホトケドジョウは、成魚で約6センチメートルの体長になります。日本の固有種で、本州・四国（青森県、中国地方西部を除く）に分布しますが、開発による生息地減少に伴う生息数減少で、環境庁レッドリストで「絶滅危惧ⅠB類（近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種）」に指定されています。	4
13	G1 TOWER（ジーワンタワー）は、ひたちなか市市毛にある日立製作所のエレベーター研究塔です。高さ213.5メートルで、2010年（平成22年）完成時には、エレベーター研究施設としては世界一の高さでした。	4
14	ひたちなか市では、煮だこや酢だこといった、たこ加工品の生産量日本一といわれています。ひたちなか市では、「たこ加工日本一の町・ひたちなか」のPRに力を入れています。	2
15	2018年（平成30年）9月20日から5日間、水戸芸術館ACM劇場で、ひたちなか海浜鉄道開業10周年記念企画として上演される劇の題名は「海辺の鉄道の話」です。	3
16	議員の定数は、ひたちなか市議会議員定数条例において「25人」と定められています。	1
17	1987年（昭和62年）開催の第35回大会から、上位入賞者のポストンマラソンへの派遣が始まりました。第38回大会からは市内枠も設けられ、毎年上位入賞者（若干名）がポストンマラソンへ派遣されています。	4
18	御社殿はかつては現在の第一鳥居付近（ひたちなか市史跡「比観亭跡」）に鎮座していましたが、水戸藩2代藩主徳川光圀公が由緒深い名社の荒廃を嘆き元禄年間御造営の計を起し、3代綱條公が現在地に遷座再興されました。現在の社殿は国費を持って昭和12年に改築竣工し、拝殿に施された「リスとブドウ」の彫刻は、左甚五郎の作と伝えられています。	2
19	今から8,000万年前の白亜紀後期の地層から発見された長さ8センチメートルの細長い骨の化石は、ドイツの大学博士の鑑定の結果、プテラノドンなどの翼竜の仲間の右の肩甲骨であるとされ、ヒタチナカリユウと命名されました。	3
20	虎塚古墳は、全長56.5メートルの前方後円墳です。1973年（昭和48年）8月16日、発掘が開始され9月12日に石室内に彩色壁画が発見されました。壁画は、白色粘土で下塗りし、赤色顔色のベンガラ（酸化第二鉄）で連続三角文や環状文など幾何学模様（きかがくもよう）と韃（ゆぎ：矢を入れて背に負う器具）や槍（やり）・楯（たて）・大刀など当時の武器や武具などが描かれています。	1
21	奈良時代の平城京跡から出土した木簡には、「常陸国那賀郡酒烈埼所生若海藻」と記されており、酒烈埼（さかつらのさき：現在のひたちなか市）からわかめが貢進されたことがわかります。	2
22	沢田遺跡では、大規模な塩づくりの跡が見つかりました。かん水という濃い塩水をためるためのかん水槽（そう）や塩を焚く釜屋等が見つかりました。	4
23	ヤンサマチは「やんさまつり」の俗称で、マチは祭りのことです。現在は毎年3月7日に競馬祭りとして祭儀のみが行われています。	1
24	ひたちなか市民大学は、市民一人一人が自発性・創造性を育み、豊かで生きがいのある生活を送ることができるよう、毎年、大学教授等を講師として招き、大学の公開講座レベルの講座を開催しています。今年度の受講料は、1講座3千円（全10回）です。	3
25	2019年に茨城県で開催する第74回国民体育大会（愛称：いきいき茨城ゆめ国体）と第19回全国障害者スポーツ大会（愛称：いきいき茨城ゆめ大会）のひたちなか市での開催競技は、陸上、水泳（競泳・飛び込み・シンクロ）、バレーボール（成年男女・少年男子）、サッカー（女子）です。	4